

BankARTschool



バンカートスクール
2016年2月-3月期募集案内

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。バンカートスクールは日曜を除くほぼ毎日、休み無く開講しています。

この11年もの間で講座263、述べ833人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ4000人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

バンカートスクール校長 村田 真

月 mon. 19:30-21:30

「アノニマスな世界をつくるアート (わざ・すべ):台湾の都市・建築 を読む」

青井哲人、他

- ① 2/1 ② 2/8 ③ 2/15 ④ 2/22
⑤ 3/7 ⑥ 3/14 ⑦ 3/21 ⑧ 3/28



私たちの生きる世界はどのように組み立てられているのだろうか？人は集団をなし、また別れる。強いられ、求め、動く。異世界に降り立つ。見慣れぬ環境に取り付いたかと思えば、まもなくその環境をつくる物質の配列を組み換えはじめる。先に来た人々との間に摩擦と融合がある。新たな居住世界が組み立てられる。—台湾の人々はそうして彼らの世界をつくってきた。無名性の世界にも、それをつくる「art=わざ・すべ」がある。それを読み解くことから、私たちがいかに世界をつくりうかを考え直したい。

- ① 2/1 「層化するエスニシティ:台湾の歴史と人」
② 2/8 「入植と土着化:土と竹の世界」
③ 2/15 「19世紀東アジア海域世界のなかへ:亭仔脚をめぐって」
④ 2/22 「寝床の植民地史」
⑤ 3/7 「家屋の類型学:コルテスキエラ・トール」
⑥ 3/14 「都市建築の時間学:テクニクスとシェア」
⑦ 3/21 「都市建築のリダンダンシー:切断と反応」
ゲスト:石樽督和
⑧ 3/28 「ディスカッション」

あおいあきひと | 1970年愛知県生まれ。京都大学大学院博士後期課程修了。神戸芸術工科大学助手、人間環境大学准教授を経て、2008年より明治大学理工学部准教授。2012-13年『建築雑誌』(日本建築学会)編集委員長。著書に『彰化一九〇六年:一座都市被烙傷、而後自體再生的故事』(台湾・大家出版、2013)、『彰化一九〇六年:市区改正が都市を動かす』(アセテート、2006)、『植民地神社と帝国日本』(吉川弘文館、2005)。共著に『明治神宮以前・以後:近代神社をめぐる環境形成の構造転換』、『シェアの思想』、『盛り場はヤミ市から生まれた』、『3.11 After 記憶と再生へのプロセス』、『世界住居誌』、『近代日本の作家たち』、『アジア都市建築史』他。

火 tue. 19:30-21:30

「写真分離派の夕べ」 倉石信乃、鈴木理策、鷹野隆大

- ① 2/2 ② 2/9 ③ 2/16 ④ 2/23
⑤ 3/1 ⑥ 3/15 ⑦ 3/22 ⑧ 3/29



写真分離派は、3人の写真家(鈴木理策、鷹野隆大、松江泰治)と、2人の批評家(倉石信乃、清水稔)からなるユニット。いずれも1963年に生まれたという共通項を持つ。2010年末に結成、写真文化の変容における危機をテーマに三つの企画展を開催、また『写真分離派宣言』を出版した。今回の講座はメンバーのうち鈴木、鷹野、倉石が講師となり、これまでの活動を紹介するほか、各自が影響を受けた写真と関連文化を論ずる。各回のテーマと担当は以下を予定。「写真分離派とその活動」(倉石、2回)、「鈴木理策ができるまで」(鈴木、2回)、「鷹野隆大ができるまで」(鷹野、2回)、「日本写真批判」(倉石、2回)。

すずきりさく | 1963年和歌山県新宮市生まれ。1987年東京総合写真専門学校研究科修了。2000年第25回木村伊兵衛写真賞受賞。2015年丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での個展「意識の流れ」(東京オペラシティアートギャラリーに巡回)でさがみはら写真賞を受賞。写真集に『海と山のあいだ』、『Atelier of Cézanne』、『White』等。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。

くらししの | 1963年長野県生まれ。1988年多摩美術大学美術学部卒業。1988-2007年横浜美術館学芸員。2011年日本写真協会賞学芸賞受賞。著書に『反写真論』、『スナップショット—写真の輝き』、『失楽園 風景表現の近代1870-1945』(共著)等。明治大学大学院理工学研究科教授。

たかのりゅうだい | 写真家。1963年生まれ。2006年にセクシュアリティをテーマにした写真集「IN MY ROOM」(蒼穹舎)で第31回木村伊兵衛写真賞を受賞。2011年には日本特有の街並みを集めた写真集『カスバ』(発行:大和プレス/発売:アートイット)を発表。性や都市といった日常生活にまつわる事柄を題材にしながら、制度化された視覚の外側を模索している。

水 wed. 19:30-21:30

「アートの綴り方 vol.8 —鶴見俊輔を読む、書く」 福住 廉

- ① 2/3 ② 2/10 ③ 2/17 ④ 2/24
⑤ 3/2 ⑥ 3/9 ⑦ 3/16 ⑧ 3/23



哲学者で思想家の鶴見俊輔さんの著作を読みます。『限界芸術論』をはじめ、『方法としてのアナキズム』、『アメノウズメ伝』、『太夫才蔵伝』など、いくつかの代表的著作を読みながら、受講生同士による意見交換を経て、それぞれ書評を執筆。それらを講師が添削してリライトを繰り返し、受講生同士による相互批評をとおして、自分の文章を練り上げてゆきます(書評は何らかのかたちで発表する予定)。鶴見さんは「生活綴り方運動」を日本のプラグマティズムの達成として高く評価しましたが、今回の講座は昨年お亡くなりになった鶴見さんへのオマージュです。

ふくずみれん | 1975年生まれ。美術評論家。著書に『今日の限界芸術』、共著に『シルバーアート 老人芸術』他多数。『artscape』、『共同通信』で毎月展評を連載するほか、展覧会のキュレーションも手がける。おもな企画展に「21世紀の限界芸術論」(Gallery MAKI)、「今日の限界芸術百選」(まつだ「農舞台」)。現在、東京藝術大学、女子美術大学、多摩美術大学非常勤講師。

木 thu. 19:30-21:30

「共通言語としての肉体」 山海塾 / 蟬丸 WS

- ① 2/11 ② 2/18 ③ 2/25 ④ 3/3
⑤ 3/10 ⑥ 3/17 ⑦ 3/24 ⑧ 3/31



©Minako ISHIDA

山海塾の様に40年以上グループ活動を続けていると親子ほど年の差がある人と一緒に踊ることになる。新しく加わるメンバーのバックグラウンドは様々なため、心や体の動きも異なる。ジャンルの違う人、あるいは日本人以外の人と踊ろうとするとその違いが面白い。しかし観客が居る舞台で群舞を行う場合は統一感が求められるため、意思疎通が必要だがどの様に行うか？言葉では間に合わないのである。

せみまる | 舞踏家・振付家。黒藤院主宰。1975年、山海塾の創設に参画。以降、すべての山海塾の活動に参加。1985年ソロ活動開始。1990年に黒藤院を旗揚げ。公演ごとに異なるメンバーを集め、作品を創る。1999年より富山県黒部川流域にアトリエを構え、毎夏、合宿と公演を行っている。野外公演が多く、その場所に依じた作品を創り、それを「磁場との対話」と呼び、空間、肉体、精神の繋がりを観察することを好む。

金 fri. 19:30-21:30

「はじめよう、アンニョハセヨ！」 金 嬪娜、鄭 眞愛、ほか

- ① 2/5 ② 2/12 ③ 2/19 ④ 2/26
⑤ 3/4 ⑥ 3/11 ⑦ 3/18 ⑧ 3/25



BankART1929が、「続・朝鮮通信使」の活動を開始して6年。ツアーやシンポジウムや展覧会の往来を通して、韓国との関係は年々深まっています。そこでより深く韓国を理解するために、初心者向けの韓国語講座を再び企画しました。

例えば、駅の名前や地名が読めるように「ハングル」文字と発音のマスター。挨拶や自己紹介、レストランでの注文、買い物ができるように、簡単な日常会話の習得。基本的なことを繰り返すことで、実践で活用できるように力点をおいた講座にしたいと思います。講座の随所に「続・朝鮮通信使」関係の内容紹介や関係者によるレクチャー等も行ないます。꼭 참가해주세요!

BankARTschool

BankARTスクールの概要

週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。

講座時間は19:30~21:30です。

場所は、基本的にBankART Studio NYKになります。

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。

また、BankARTショップでの買い物5%割引、BankARTバブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金が確認でき次第、手続き完了となります。一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ:BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813
BankART Studio NYK 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9